



SWIFT for CORPORATES

最高水準の安全性を誇るネットワークによるマルチバンクソリューション

1

SWIFT for Corporatesのバリュー

4

2

マルチバンキングの課題

8

3

SWIFTのバリュー

10

4

よくある質問

15

1

SWIFT for Corporates のバリュー

今日、企業の財務部門はこれまで以上に規制対応やグローバルな流動性管理といった様々な課題に直面しています。多くの企業、また特に多国籍企業においては、キャッシュマネジメントや貿易取引、トレジャリー業務を行うために複数の銀行との間で取引が発生します。複数の銀行と効率的かつ安全に取引を行うためには、多大な時間とコストがかかります。

このような課題に対処するために、企業によるSWIFTの利用が進んでいます。SWIFTは、幅広い各取引銀行のサービスに、安全で信頼性の高い単一のチャネルで、効率的にアクセスする手段を提供します。

企業向けSWIFTサービス

SWIFTは複数の銀行と取引を行う企業に、幅広いサービスを提供しています。

流動性管理

- » アカウストステートメント(日中レポートおよび期末ステートメントを含む)
- » 送金
- » 到着通知
- » 入出金通知

キャッシュマネジメント

- » バルク送金(サプライヤー宛支払/給与振込)
- » SWIFTRef - 国内・海外送金用銀行データベース

トレジャリー

- » FXコンファメーション
- » FX、マネーマーケット、デリバティブ、商品先物、証券取引のコンファメーションマッチング
- » 規制当局宛報告

トレード&サプライチェーンファイナンス

- » 信用状・支払保証
- » 銀行支払確約(BPO)

eBAM(電子銀行口座管理)

- » 口座開設、解約、及び管理

証券

- » 社債及び株式
- » 投資ファンド
- » 担保管理

“全ての金融機関と
安全で信頼性の高い
単一のチャンネルで
アクセス”



安全性

キャッシュの可視性

可用性

銀行とベンダーの不可知性

信頼性

グローバル化

2

マルチバンキングの 課題

財務部門が直面する課題

- » キャッシュポジションの「見える化」の不備
- » キャッシュ・貿易取引の自動化の遅れ
- » マニュアル処理と入力エラー
- » 銀行及びベンダー毎に異なる独自の手続、セキュリティツールの利用、取引開始に係るコスト
- » 高いオペレーションコスト
- » 取引確認事務やコンプライアンス対応の複雑化

企業はその規模や所在地に拘らず、キャッシュマネジメント、トレジャリー業務、貿易取引において、取引銀行と安全かつ効率的にコミュニケーションを行う必要があります。企業規模や営業基盤の拡大に伴い、取引銀行数は増加する傾向にあります。

マルチバンキングの課題

地理的要因や専門分野に応じた様々な銀行サービスの利用は、企業にとって大きなメリットになります。一方で複数の銀行システムの統合が必要となり、労働集約的なコストが発生します。また財務プロセスが複雑化することで、具体的には次のような潜在リスクが想定されます。

- » 異なるセキュリティ手順を踏襲する必要性から、不透明性が高まり、監査要件適合が困難となる。
- » 銀行から受け取るデータが断片化し、内容に統一性を欠くことから、事業全体のキャッシュポジションやリスクにおけるタイムリーかつ正確な把握が制限される。
- » 送金手順やフォーマットが銀行間で異なることが多く、入力エラー、送金不履行のリスクを伴う。
- » フォーマットや手順に一貫性がないため、銀行口座のリコンシリエーションの自動化が困難となり、財務プロセスの非効率性が生じる。
- » 取引銀行の追加または変更は費用と時間を要し、企業は事実上、既存取引銀行に「束縛」されることになる。変化し続ける事業要件への財務部門の対応力に問題が生じ、リスク管理に大きな影響を及ぼす。

3

SWIFTのバリュー

SWIFTは、銀行中立的かつ安全なチャネルを提供することで企業の財務部門が抱える様々な課題に対応し、キャッシュ、トレジャリー、貿易取引において複数の銀行から一貫性のあるサービスを受けることができます。

SWIFTは主に、接続性、自動化、セキュリティ、サプライチェーン、コンプライアンスの5分野においてバリューを提供します。

1. 接続性:

SWIFTは、複数の銀行システムを銀行中立的な単一のチャンネルに置き換えます。企業の財務部門は世界各地の取引銀行と業界標準仕様による一貫性のある方法で接続が可能になります。取引先リスク管理を効果的に行いたい、事業の国内外での拡大を検討している、M&Aの効果を迅速に達成したい、といった企業にとって重要なポイントです。

SWIFTはマルチバンクプラットフォームを提供する役割を担うだけでなく、標準化を推進するキープレイヤーです。取引金融機関とのコミュニケーションの効率化および円滑化、さらに財務プロセスや金融システムの統合を推進しています。

2. 自動化

取引銀行との一連の業務フロー、フォーマット、取引内容を標準化することにより、企業は送金、銀行口座のリコンシリエーション、取引記帳、日々のキャッシュポジションの確認など、財務プロセスをより効果的に自動化することができます。

データ統合やプロセス自動化のサポートを強化するために「SWIFTRef」を企業システムに直接組み入れることが可能です。これは取引先銀行口座のグローバルな情報を一元管理する信頼性の高いデータベースで、手作業による銀行情報更新による入力エラーや不正リスクの低減、支払不能および遅延回避につながります。

3. セキュリティ

送金・情報セキュリティーは、財務・IT部門を支える重要な役割を担います。デジタルコミュニケーションの役割がこれまでになく重要になるにつれ、また多数のチャンネルとセキュリティー手順の管理の必要性と相伴って、内部および外部双方からの安全性への脅威はますます大きくなっています。SWIFTは安全性、可用性、レジリエンシーにおいて比類のない実績を誇り、2,200万件/日の金融取引を行っています。

SWIFTは安全なネットワークに加え、マルチバンク用本人確認デバイス「3SKey」を提供しています。企業はこの単一デジタルキーの利用により、オンラインバンキングを含むあらゆるチャンネル上ですべての取引銀行との認証が可能になります。

3SKeyは、銀行業務指図へのデジタル署名にも利用できます。

4. サプライチェーン

SWIFTのバリューは、キャッシュ取引に限定されません。オープンアカウントの取引の割合が増加傾向にあります。貿易金融は引き続き、特に新興国市場において、重要な役割を担っています。SWIFTは信用状取引のメッセージング標準を幅広くサポートするほか、貿易取引の自動化、不備や遅延の極小化、キャッシュフロー予測の簡易化に貢献します。

従来の貿易関連サービスに加えて導入された銀行支払確約(BPO)は、SWIFTのマッチングエンジン「Trade Services Utility(TSU)」を利用して、ISO20022による貿易書類データを自動マッチングすることで、貿易決済をサポートする新サービスです。より迅速、安全かつ正確な貿易決済を行い、更なる国際貿易を推進するため、BPOを導入する企業が急速に増えています。

5. コンプライアンス

近年、「規制」に係わる環境は複雑性が更に増えています。現地や国際的な規制に対するコンプライアンス対応は、企業や取引銀行にとって極めて煩雑な問題です。SWIFTを利用したコンプライアンス対応にも、様々な手法があります。

- » **内部監査や外部規制へ対応するため、プロセスの自動化、標準化、またデータの完全性及び透明性を促進**
- » **サーベンス・オクスリー法、ドッド・フランク法、SEPA、EMIRなどの厳格な規制を受ける企業は、単一のインターフェースの導入により、各銀行との接続に関連する文書化作業や管理業務を簡素化**

SWIFTを使う メリット

キャッシュ・貿易取引をグローバルに「見える化」

すべての取引銀行からキャッシュポジションのレポートを日次または日中に受け取ることができます。キャッシュポジションの「見える化」により、流動性を最大限に有効活用できます。

金融取引コストを削減

SWIFTはチャネルの合理化を可能にします。取引銀行が増えれば、コスト削減効果も大きくなります。SWIFTで採用されている標準仕様はストレート・スルー・プロセッシング(STP)を促進し、マニュアル作業の削減による従業員の生産性向上にも寄与します。

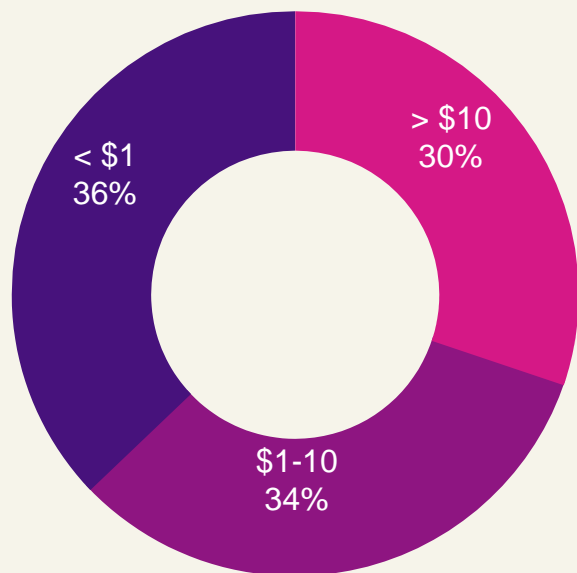
セキュリティ・信頼性を向上

SWIFTの可用性の高いネットワークと、高いレベルのセキュリティとレジリエンスへの重点的取組は、取引銀行への継続的なアクセスを求める企業にとって非常に重要なポイントです。

キャッシュ・
貿易取引の
グローバルな
「見える化」

SWIFT サービス

多国籍大企業向
サービスから、
幅広い事業規模
の企業が利用



年間取引総額で見るSWIFT
利用企業の構成比
(単位: 10億米ドル)

よくある質問

*SWIFT*を利用する企業の規模は？

当初SWIFTをご利用いただいていた企業は、複数の銀行とグローバルな関係を持つ大規模な多国籍企業を中心でしたが、現在、『フォーチュン・グローバル500』の半数近くのお客様にご利用いただいております。複数の銀行と取引のある企業であればどのお客様でも、安全性、一貫性、効率性を重視するSWIFT接続と、SWIFTが提供する様々なサービスから、メリットをご享受いただけます。現在、SWIFTをご利用いただいている約36%のお客様が、売上高10億米ドル未満の企業です。

取引銀行とのSWIFT接続は、国内接続、海外接続双方とも利用可能ですか？

もちろんです。SWIFTはグローバルプラットフォームであり、国内の取引銀行とも世界中の取引銀行とも接続することができます。これはグローバルに統一されたトレジャリーセンターやシェアードサービスであるか、複数地域にまたがる組織であるかにかかわらず当てはまります。

SWIFTと接続するには？

SWIFTは各企業の要件や技術的制約に応じて、様々な接続方法をご用意しております。これにはオンサイト型とクラウド型のソリューションが含まれます。

*SWIFT for Corporates*をフル活用するためには？

SWIFTでは、企業の皆様がSWIFTの法人向ソリューションの理解を深め、SWIFTを実際に導入いただけるよう、トレーニングコースをご用意しております。また、SWIFTの法人向ソリューションや銀行宛標準メッセージ仕様に関して、導入前、導入時及び導入後のコンサルティングサービスも提供しております。

詳細につきましては、以下にお問い合わせください。

SWIFTはグローバルな会員制協同組合であり、215の国と地域にある10,500以上の銀行、証券会社や事業法人に安全な金融メッセージングサービスを提供しています。SWIFTは、市場慣行形成、メッセージング標準化、金融サービス開発等、金融コミュニティの協働に貢献しています。

ホームページ：www.swift.com

お問い合わせ先：swiftforcorporates@swift.com ・
supplychain@swift.com

つながってください：SWIFT for Corporates ・ Supply Chain
on SWIFT

SWIFT © 2014



www.swift.com